

●議案審査

・市立幼稚園の保育室への空調設置、学校施設における現行法に適合させるためのコンクリートブロック塀の撤去及び復旧工事についても可決し、着実に進めていくことを要望。
 ・大阪市子ども相談センター(児童相談所)での大学等の養成機関からの実習の受け入れについて8年受け入れていない。「人材育成」「持続可能な体制づくり」という観点から、社会福祉士実習指導をぜひ再開してほしいと要望。



本会議

●テストの結果を教員の人事評価に利用することについて

「人事評価の客観的な指標が本当に作れるのか」「経年調査やチャレンジテストの伸びを測定する指標のある教員と学力調査等の結果によらない指標を使う教員を一緒にして評価するとした場合、それは公正な評価と言えるのか」「教員が被評価者として評価制度について納得し、評価が教員のモチベーションをあげたり、指導力を向上させたりする評価制度とするべきだが、本当にそのような制度ができるのか」と問い、現在、学力向上を目指す方策の一つとして、退職校長やアドバイsteamを派遣しているが、まずは、こうした、現行施策の効果検証とブラッシュアップを最低限してからでも遅くないのではないか。今回のことも含め、この間の教員評価に関する取り組みは、大阪では教員が叩かれているという印象を全国に振りまいて、マイナスの影響を与えているとして、慎重な取り組みを要望。

●生野区の学校再編の進め方について



議会委員会

4つの連合振興町会名で、合意抜きで進めないでとの陳情。「このまま合意なしで進めていくことについてどのように考えているのか」「地域の参加がなくても進めていくのか」「地域が賛成反対と分断されることについてどう考えているのか」と問い、目の前にある課題に対してなんとかしなければならないことは誰もが思っているが、行政が一方的に進めることで地域が分断することがあってはならない。

まちのことをまちで決定していくというプロセスに寄り添って欲しい。陳情書ができてきていることもまちづくりのプロセスであり、一緒に乗り越えてこそ住民自治、地域自治。

我がことにしていくプロセスは大変だが、覚悟を決めてもう一度そういうプロセスを地域と歩んで欲しい。説明会はいつまでたってもお客さん。一緒に我がこととして考えていく主体になるような取り組みを進めてもらいたいと要望。



●チャレンジテストについて

「6月20日に実施予定が、大阪北部地震の影響で9月4日に延期になり、さらに大型台風21号が来て、再度延期に。大阪市では多くの学校が6日に実施したが、まだ停電している学校や被災している生徒がいるなか、わずか2日後の6日に強行する必要があったのか」「市内では、6日に実施しなかったところは9校。府下は、70校あまり。入試の評定にも使われるテストだが、同一日に実施できないことは不公平では」と問い、同一日に、また、府内一斉に実施しない時点で、公平性は失われていて、1人でも不利益を被る生徒がいる限りは、今回のチャレンジテストは、評定に使うべきではないのでは? 今回の問題点をしっかり分析・検証し、大阪市から主管の大阪府に声を届け、保護者や生徒が納得のいく対応をすることを要望。

大阪市議員 武直樹 市政報告

問合わせ先: 武直樹市民協働事務所 〒544-0015 大阪市生野区巽南1-2-3 ☎06-6753-6714 mail: take@take-naoki.com

今期は、「議会の見える化」「対話による政策づくり」をテーマに掲げてこれまで活動してきました。

議員の政策づくりの「見える化」にこだわって活動しています。市民の皆さんが政策づくりに参画するプロセスを大事にしています。

そのために
対話による政策づくりを行ってきました。

自治フォーラムおおさかの開催 12回 (12月15日現在)
毎回テーマを決めて専門家を交えて、ワークショップをしながら政策づくり。

地域ごとの座談会の開催 33回 (12月15日現在)
身近な会館などで気軽に参加していただき、対話を通じて生のお声を聴いてきました。

空き家空き地活用、地域共生ケアの推進、子どもの居場所づくり、NPOとの連携の会議 200回以上の参加

定期的に街頭市政報告会の開催

桃谷駅、寺田町駅、小路駅、北巽駅、南巽駅、今里駅、大池橋交差点など定期的に回らせていただいています。

まちには、何とかしたい、おもしろいことをしたい人がたくさんいます。そうした人たちが定期的集まり、話せる場をつくる応援をし、自らも参加してきました。

こうした取り組みの中から市民の皆さんからご提案いただいた声をダイレクトに施策につなげています。



大阪市の見えるまちづくりで
すべてのひとに
出番と居場所を!!

たけ
ケアマネジャー
社会福祉士
武なおき

いいね!
お願いします
Facebook

プロフィール 1972年(昭和47年)12月26日生。同志社大学大学院社会福祉学専攻博士課程(前期)修了。生野区社会福祉協議会職員として7年間、生野区の福祉のまちづくりに携わる。NPO法人いくの市民活動支援センターを立ち上げ、社会福祉士・ケアマネジャーとして、大阪市、生野区のまちづくりに奮闘中。2011年(平成23年)4月より大阪市議員。現在2期目。子ども3人と妻の5人暮らし。

郵便はがき

5448790

料金受取人私郵便
生野局
承認
1647

差出有効期間
2020年
11月30日まで
(切手不要)

大阪市生野区巽南1-2-3
武直樹市民協働事務所 行

市政報告を送付してもよい方をご紹介します

ご芳名	お電話番号
ご住所	
ご芳名	お電話番号
ご住所	
ご芳名	お電話番号
ご住所	

活動報告

◎皆さんが参加参画してワークショップなどを通じて考える“自治フォーラムおおさか”

●9月22日 10回目のフォーラムでは「下町成長戦略」について考えました。

ビッグイベントや企業誘致だけでは、売上は増えても、利益は外資や大企業、都心部に集中。格差はさらに広がる可能性もあり、もう一度、地域の産業や資源を活かし、ヒト・モノ・カネが地域で循環し、地元経済を元気にすることが必要との切り口で開催しました。



自治フォーラム下町

●10月20日 11回目は、「子どもの学びと育ち」がテーマ。

“えんたくん”という面白い素材を使い、少人数でひざを突き合わせ、ざっくばらんに語り合いました。イチオン提案のなかには「学用品などのコミュニティおさがり制度」「担任が対応するクレーム範囲を決めておく」「子どもカルテ(地域で情報共有)」などなどアイデアがたくさんでました。



えんたくん

自治フォーラムおおさか

◎身近な会館などで気軽に参加していただき、対話を通じて生のお声をお聴きする“座談会”

- 9月13日 巽南地域、18日 勝山地域。
- 10月4日 北巽地域。
- 11月8日 巽東地域、9日 御幸森地域、11日 東小路地域。

やはり一方通行でなく双方の対話が住民自治の原点です。地道に皆さんのお声をお聴きしています。この参加参画のプロセスを大事にしています。



勝山座談会

大阪市への皆さんの率直な意見をお聴かせください FAX:6753-6713

ご意見・ご感想

ご芳名	メールアドレス
ご住所	お電話番号

皆様の貴重なご意見・ご感想をお待ちしております。「こうしたらもっと住みやすくなるのに」「こういう風にして欲しい」など、どんな些細なことでも構いません。思われていることなどありましたら、ご記入いただき、ご投函もしくはFAX(6753-6713)していただきますよう、お願い申し上げます。



○自治フォーラムおおさかでのワークショップ、座談会、テーマごとの会議に参加させていただきながら、重点的に取り組んでいく政策を練り上げています。今後、詳細を紹介していきます。

●5つの仕組みづくり

- ①市民の参加がさらに進む仕組みづくり
- ②空き家の利活用を促進
- ③はたらく支援の仕組みづくり
- ④お互いさまの地域づくり
- ⑤共生と人権を包括する仕組みづくり

●5つの重点政策

- ①子ども応援は最重点の課題
- ②すべての親子が安心して暮らせるまちへ
- ③都構想でなく「下町成長戦略」を思い描いています
- ④分割の特別区でなく「分権の総合区」に賛成です
- ⑤震災時に時限爆弾になりかねない老朽インフラ・公共施設をどうするか

◎9月23日、24日 大阪国際交流センターを借り切った“地域包括ケア、在宅ケアを考える全国大会”開催。

●大会をつかっていくプロセスもまちづくりです。

1,767人の参加。武直樹は2日間でボランティアのべ311人の担当責任者でした。大変でしたが、ボランティアの皆さんそして、ボランティア担当委員の皆さん、各実行委員の皆さんのおかげで無事終わりました。感謝。



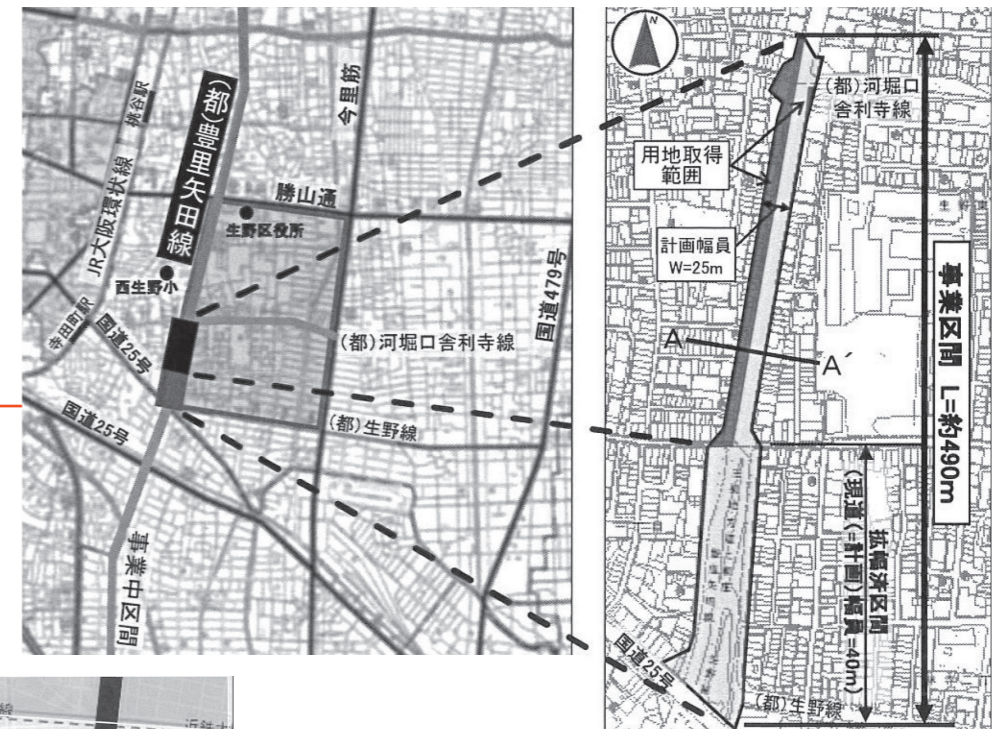
全国大会

生野区情報

●大阪都市計画道路 豊里矢田線(生野)の事業が開始します。

事業地：生野西4丁目、生野東2丁目地区

平成31年～基準点測量・現況測量等を実施していきます。



●2019年 第9回大阪マラソンから生野区もコースに入ります。

第9回 大阪マラソン 2019年12月1日(日)予定
(交通規制時間(予定)) 9:05頃～16:20頃



2016年10月30日